

デジタル技術を活用したスマート水産業の推進

政策提言先 水産庁

政策提言の要旨

漁業者の減少や高齢化が進む中、漁業生産額を維持していくためには、AIやIoTなどのデジタル技術を活用した操業の効率化や産地市場のIoT化など、漁業現場の生産性の向上や適切な資源管理を進めることが必要と考えます。

そのため、本県では、漁場予測システムの開発や産地市場への自動計量システムの導入など、生産から流通、販売までの各段階においてデジタル化を推進しているところです。

こうした取組が円滑に進むよう、必要かつ十分な予算を確保するとともに、地域との連携・協力を深め、水産業のスマート化を一段と加速することを提言します。

【政策提言の具体的内容】

- 1 漁場予測システムの開発による操業の効率化や産地市場への自動計量システムの導入による水揚げ情報の迅速な把握など、高度なデジタル技術を活用した地域の取組が円滑に進むよう、国として水産業のスマート化に関連する予算を十分に確保することを提言します。
- 2 水産業のスマート化を加速するため、国の試験・研究で得られた技術や知見を地方とも共有し、普及を図るなど、国と地域との連携・協力を一段と深めるよう提言します。

【政策提言の理由】

- ・ 漁業者の減少や高齢化に加え、漁業生産量の減少が進む中、漁業生産額を維持していくためには、適切な資源管理を進めるとともに、AIやIoTなどのデジタル技術を活用し、漁業現場の課題解決や生産性の向上を図るスマート水産業の推進が必要です。
- ・ そのため、本県では、土佐黒潮牧場の高機能化をはじめ、漁場予測システムの開発、産地市場における作業の効率化、水揚げ情報の迅速な把握のための自動計量システムの導入など、生産から流通、販売までの各段階においてデジタル化を進める「高知マリンイノベーション」を推進しています。
- ・ さらにこの取組を加速するため、本年2月に、大学や国の研究機関などの有識者で構成する「高知マリンイノベーション運営協議会」を設置し、既存プロジェクトの高度化や新たなプロジェクトの創出を図ることとしています。
- ・ 具体的には、AIなどの高度なデジタル技術を活用した漁場予測システムの開発をはじめ、海洋観測データや水揚げデータなどを一元的に管理するデータベースの構築などにより、効率的な漁業生産体制への転換を進めることとしています。加えて、操業や水揚げ情報を迅速に収集する仕組みを構築することにより、資源評価の高度化にもつながるものと考えます。
- ・ こうした本県の取組は、国が進めるスマート水産業の推進とも方向性を一つにするものです。本年度からは、資源・漁獲情報ネットワーク構築事業を活用させていただいておりますが、引き続き、地域と国が連携・協力して取組を進めることで、水産業のスマート化はさらに加速するものと考えます。

【高知県担当課】水産振興部 水産政策課